

【専門教育科目/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論Ⅱ		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
小林 美雪 他	407	m.kobayashi	授業終了時、水曜日 16:00 以降		
授業の目的・概要	慢性的な健康問題を有する人は、病いによる生活上の困難や障害と共に生活している。その人が病いと共に生き、QOL(生活の質)を維持、向上できる援助が求められる。さらに、支援者としての家族への看護および社会資源の活用も必要となる。講義では、慢性に進行する病気および検査、処置についての基本的知識を基に、患者が自ら病気の増悪を予防でき、可能な限りその人らしく健康な生活を営むためのセルフケア能力の獲得への支援および終末期にある人がその人らしく最期を迎えられる看護を学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	成人看護学概論および専門教育関連科目で学修した知識が前提となるので、事前に復習しておくこと。また疑問点は、授業中やリアクションペーパーでの質疑応答で解決できるようにすること。				
教科書	①経過別成人看護学③慢性期看護 / 編:黒江ゆり子 / メヂカルフレンド社 / 2021 第7版 ②専門分野(2)成人看護学<2> 第15版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 ③専門分野(2)成人看護学<3> 第15版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 ④専門分野(2)成人看護学<4> 第15版 血液・造血器(系統看護学講座)/医学書院 ⑤専門分野(2)成人看護学<5> 第15版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 ⑥専門分野(2)成人看護学<6> 第15版 内分泌・代謝(系統看護学講座)/医学書院 ⑦専門分野(2)成人看護学<8> 第15版 腎臓・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 ⑧専門分野(2)成人看護学<11> 第15版 アレルギー・膠原病等(系統看護学講座)/医学書院 [8冊指定]				
参考書	系統看護学講座別巻 がん看護学 / 著:小松浩子 他 / 医学書院 / 2017				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	慢性的な経過をたどる健康障害のある人及び家族の理解と看護の考え方が分かる		HSU(1)(3) NS(1)(2)(3)		
②	慢性的な経過をたどる健康障害のある人の治療・検査の看護が説明できる		NS(1)(2)		
③	慢性的な経過をたどる健康障害のある人及び家族のセルフケアへの看護が説明できる		NS(1)(2)(3)		
④	がん看護の基本的な知識と看護について説明できる		NS(1)(2)(3)		
⑤	終末期の基本的な知識と終末期にある人の看護について説明できる		HSU(1)NS(1)(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス/慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族への看護の概要について学ぶ	講義	事後課題:「慢性疾患とは」に取り組む		0.5
2	慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族の理解と看護の考え方(危機モデル/病みの行路・軌跡等)を学ぶ	講義・GW	事前課題:教科書①p41~45、p56~64を読み、病みの軌跡とその局面についてまとめる		1
3	慢性的な経過をたどる健康障害のある人と家族の理解と支援(セルフケア/健康学習支援/多職種連携等)を学ぶ	講義	事前課題:教科書①p81~84を読み、健康学習支援(セルフマネジメント支援)についてまとめる		1
4	慢性的な経過をたどる健康障害のある人の検査・処置に伴う看護を学ぶ	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		1
5	慢性的な経過をたどる健康障害(呼吸器疾患)のある人の看護を学ぶ①	講義・反転授業	事前課題:「呼吸器疾患」に取り組む		1
6	慢性的な経過をたどる健康障害(呼吸器疾患)のある人の看護を学ぶ②	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		0.5
7	慢性的な経過をたどる健康障害(高血圧・慢性心不全)のある人の看護を学ぶ①	講義・反転授業	事前課題:「高血圧・慢性心不全」に取り組む		1
8	慢性的な経過をたどる健康障害(高血圧・慢性心不全)のある人の看護を学ぶ②	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		1
9	慢性的な経過をたどる健康障害(検査・処置/呼吸器疾患/高血圧・慢性心不全)のある人の看護のまとめ(小テスト①)	講義・PBL	事前課題:第4回~8回までの授業資料を復習する		2

【専門教育科目/看護の展開/成人看護学】

10	慢性的な経過をたどる健康障害(消化器疾患)のある人の看護を学ぶ①	講義・反転授業	事前課題:「消化器疾患」に取り組む		1
11	慢性的な経過をたどる健康障害(消化器疾患)のある人の看護を学ぶ②	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		0.5
12	慢性的な経過をたどる健康障害(肝機能障害)のある人の看護を学ぶ①	講義・反転授業	事前課題:「肝機能障害」に取り組む		1
13	慢性的な経過をたどる健康障害(肝機能障害)のある人の看護を学ぶ②	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		1
14	慢性的な経過をたどる健康障害(内分泌・代謝)のある人の看護を学ぶ①	講義・反転授業	事前課題:「糖尿病」に取り組む		1
15	慢性的な経過をたどる健康障害(内分泌・代謝)のある人の看護を学ぶ②	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		1
16	慢性的な経過をたどる健康障害(糖尿病)のある人の看護を学ぶ③(事例への看護を考える)	PBL・GW・プレゼンテーション	事前課題:授業中に提示する事例を理解し演習に臨めるようにする		1
17	慢性的な経過をたどる健康障害(糖尿病)のある人の看護を学ぶ④(演習を通して、事例への看護を考える)-血糖自己測定、インスリン自己注射-	演習・GW	事後課題:授業内で提示する課題に取り組む		1
18	慢性的な経過をたどる健康障害(糖尿病)のある人の看護を学ぶ⑤(演習を通して、事例への看護を考える)-血糖自己測定、インスリン自己注射-	演習・GW			1
19	慢性的な経過をたどる健康障害(消化器/肝機能障害/糖尿病)のある人の看護のまとめ(小テスト②)	講義・反転授業	事前課題:「血液疾患」に取り組む		1
20	慢性的な経過をたどる健康障害(血液疾患)に罹患した人の看護の特徴を学ぶ①	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		0.5
21	慢性的な経過をたどる健康障害(血液疾患)に罹患した人の看護の特徴を学ぶ②	講義	事前課題:授業中に提示する事例を理解し、授業に臨む		1
22	慢性的な経過をたどる健康障害(血液疾患)のある人の看護を学ぶ③(事例への看護を考える)	PBL・GW・プレゼンテーション	事前課題:「腎臓疾患」に取り組む		1
23	慢性的な経過をたどる健康障害(腎臓病)のある人の看護を学ぶ①	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		1
24	慢性的な経過をたどる健康障害(腎臓病)のある人の看護を学ぶ②	講義・反転授業	事前課題:「膠原病」に取り組む		1
25	慢性的な経過をたどる健康障害(膠原病)のある人の看護を学ぶ	講義	事前課題:第10回~17回までの授業資料を復習する		2
26	慢性的な経過をたどる健康障害(がん疾患)の特徴と治療について学ぶ①	講義・反転授業	事前に提示した課題に取り組む		1
27	慢性的な経過をたどる健康障害(がん疾患)の特徴と治療について学ぶ②	講義	事後課題:授業の重要部分をまとめる		0.5
28	慢性的な経過をたどる健康障害による終末期にある人の看護について学ぶ	講義・反転授業	事前に提示した課題に取り組む		0.5
29	慢性的な経過をたどる健康障害のある人の看護を学ぶ(がん看護専門看護師とがん看護を語る)	講義・討論	事後課題:「専門看護師の話を聞いて、学んだこと、考えたこと」をレポートする		1
30	慢性的な経過をたどる健康障害(血液疾患/腎臓病/膠原病/がん疾患/終末期)のある人の看護のまとめ(小テスト③)	講義・PBL	事前課題:第19回~27回までの授業資料を復習する		2
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門教育科目/看護の展開/成人看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	10	0	20	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	10	0	80
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	0	10
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	0	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	定期試験および講義中に小テストを実施し、総合評価の70%とする。 なお、試験への「教科書持ち込み」は不可とする。				試験後に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	「認定看護師の話聞いて、学んだこと、考えたこと」のレポートを総合評価の10%とする。				授業中にフィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	各学習内容に準じた、疾患/治療/検査等についての事前課題に取り組み、提出したものを総合評価の20%とする。(各授業で活用後、授業終了時に提出する)				授業時に確認して助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	吉岡睦世						
教 員 の 実 務 経 験	科目責任者は看護師として23年の臨床経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導のもと、慢性期看護について理解を深める。 教員の経験から慢性期看護の実事例を取り上げ、教科書の内容をさらに深めながら学習する。						
そ の 他	授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業への参加を認めません。 新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、知らせることとする。						